

元気な岸和田の作り方

岸和田レシビ



どうなってるの？

- 市長選挙後の動きについて
- パスポートセンター業務開始
- 広域化行政の推進
- 財政再建問題

井上ひろし公式ホームページ
<https://www.inoue-kishiwada.com/>

井上ひろし 市議会報告 第5号



市長選挙後の動きについて

市長辞任！そして出直し選挙へ！

12月22日の各紙夕刊に「信貴市長辞任」の報道が流れました。

私も少なからず市会議員としてこの問題にかかわっていましたが、市長自ら辞任することが本件に関する最良の方法であったと思っています。

私の意見は、「基本的には市長の今回の報道に関する政治姿勢には大いに問題がある、しかし12月議会、その次は2月中旬から始まる3月

議会において平成30年度の予算審議などがあり、議会をこれ以上混乱させるべきでない。

議会が機能しなくなれば、市民生活に影響が出ることは必然であるため、とりあえずは問責決議を行い市長にきつく責任を問うことにし、4月以降に百条委員会を持って今回の政治資金問題に絡んでいる競輪場の建替え問題などの事実の解明を行う。という考えでした。仮に今議会で市長への不信任案が可決されたならば、10日以内に市議会の解散が市長自身が辞任するかになります。市長が議会の解散を選択した場合には、市会議員選挙後の本会議で再度市長への不信任が採択されると市長は自動的に失職することになり、市長選挙をさらに行うことになります。

いま2回の選挙を行えば1億円以上の選挙

費用と1月上旬以降～4月中旬まで市長や市議会不在の状態となり、来年度予算や関係条例の審議ができなくなり、当面は骨格予算でいかに得ず、また新規事業などは全てストップしてしまいます。各々の行政事業は岸和田市だけで行っているではありません、府や国の制度に沿って動かねば種々の事業はできません。

上記理由で私は不信任案には反対していましたが、与党である共産党が不信任に賛成の立場をとるのであれば、不信任が成立することは必定のため、市長に「これ以上行政の停滞を起こし、マスコミの標的にされることは許されない、辞任して市民に信を問うべき」との話もしていました。

私自身は今まで競輪場の建替え問題や、中核市問題、そして昨年末の職員の給与引き上げなど市長からの提案をこたくこたく反対して野党の立場です。しかし市長不信任を行い解散か辞

職で政治空白の期間を生むことで市民生活に影響を与えることは絶対できません。

そのため私はあえて不信任案に反対する立場をとっていましたが今回の市長辞任で出直し選挙となりました。今度こそ市民は岸和田の将来を託すに足りる確かな人を市長に選んで欲しいと願っています。



[投票に行ってください。](#)

ご報告です パスポートセンター業務開始決定！

10月1日より岸和田市でパスポートがもらえます。

私が一昨年（27年4月）選挙で当選した直後から数回に渡り提案してきた、**岸和田市役所内でのパスポートの申請・発給業務を行うべきとの提案が実施されることになりました。**

平成30年10月から開始予定で、場所は本庁舎1階の市民課窓口です。

昨年の9月議会での一般質問では先行実施している和泉市の例を取り上げ市の見積もりや計画の甘さ、市民サービス向上の重要性を訴えてきましたが、先日企画調整部より「来年10月からパスポート業務を実施すること

に決まった」との報告がありました。

職員の増減を一切行わず現有の人数で賄う方針であるとのこと。業務量の大幅な増加にもかかわらず職員を増やすことなく実施しようという試みは市民課職員のかなりの努力が必要です。財政難で費用削減に努力している職員の心意気が伝わってくるものです。

市民の皆さんにはあと10カ月のご辛抱をお願いします。10月からはりんくうタウンや大阪府庁のパスポートセンターまでいなくても市役所でパスポートの申請と取得ができるようになります。



提言 します

広域化行政 の推進 近隣と連携を

一つの自治体で公共施設を運営する時代は終わった！

少子高齢化で人口減少が進む昨今、岸和田市だけで種々の事業を行うのは非常に厳しくなっています。現在他市と行っている広域化事業は岸和田市貝塚市清掃工場（クリーンセンター）だけですが、国内の多くの市町村では、消防・清掃工場・火葬場・し尿処理場・病院などの業務が近隣の市町村との共同事業として行われています。

人口減少が始まった今日では大きな施設を1市で作り運営を行うことは非常にデメリットが大きくなります。

例えば、火葬場は今後20年ほどは死亡率も上昇して施設もそれだけの規模の物を造らねばなりません、その後は死亡者も少なくなり施設の維持に多額の費用が掛かってきます。これらの施設は約40～50年は存続しますので、後年度の負担が市の財政に大きく影響してきます。

消防の場合、1億円以上する高価なハシゴ車や化学消防車などはめったに使うものでは



ありませんが、消防設備としては万が一を想定して揃えておかねばなりません。

これを近隣市と共同で行えば、各市の費用削減になります。ハード機器の浮いた分で救急体制や火災予防・災害対策を強化すれば安心安全な街づくりを進めることができます。

要はこの狭い泉州地域で各市が独自で施設や業務を行う必要があるのかということです。

人口規模として最も効率が良いのは30万～40万人規模です。

今後進む少子高齢化で人口減少社会に対応するには、行政の効率化を進めなければ施設や業務の維持で不必要な経費が掛かり、それが財政の圧迫につながり現状の福祉サービスを維持できなくなるからです。

新生改革クラブニュース第4号でもお知らせしたように、現在市の借金は1529億円ですが、野口市長が危機感を抱き財政再生プランを実行した平成20年度の決算では借金総額1904億円で、それに対する返済額総額は273億円だったものが平成28年度では187億円になっています。借金で怖いのは個人のローンと同じく利息の負担ですが、財政当局の努力で高い金利からの借換えや、新規事業の資金繰りには金利が安く、地方交

財政 再建 問題

財政問題の ヤマ場は 超えた！

低金利政策の今こそ積極的な施策を！

現在の岸和田市の財政は、「まだまだ予断を許さないが、大きなヤマは超えた」と言って過言ではありません。

付税の補填のある起債を出来る限り利用しています。あと3～4年で金利4%以上の債券はほぼ返し終わり、その後は平均で1～2%程度の金利になります。現在借りている債権の金利は0.8%程度です。

政府が推し進める0金利政策のおかげと言えます。

姉妹都市の小田原市の財政状況と比較すればまだまだです。（ネットを見れる方は小田原市のホームページをご覧ください。）

今後経常収支比率98.5を90未満に落とし、実質公債費比率も12.4を6程度に、そして財政調整基金残高は31億円ですが、こ



れを普通会計の10%に当たる70億円程度まで上げなければ財政再建をなしえたとは言えません。

このためには、市民生活に影響を与えることなく支出を減ら

す方法として広域行政の推進と民間活力の導入による事業を行わねばならないでしょう。

岸和田市が今行わねばならないことは、【入るを量って出を制す】ですが、それだけでは岸和田市の将来はありません、この低金利の政策をうまく利用して泉州山手線沿道と木材コンビナート貯木場の埋立で産業誘致の基盤整備を行うべきです。

今こそ、民間のアイデアと資金を活用して積極的な施策に取り組むべきでしょう。



編集 後記

今回「井上ひろし市議会報告 第5号」を全市域に新聞オリコミで出しました。

今までは（4号まで）

後援会の方々を中心にこの市議会報告を出していましたが、より多くの方々に私の考えや市役所の各種情報を知っていただくために全市域にオリコミで発行します。

本紙は年に2回ほどしか出せませんが、ホームページは月に一度は更新をしています。

議会での報告や私の考え、市役所の情報など、随時発信しています。

ぜひそちらもご覧ください。

井上ひろしの日々の活動を、公式ホームページに随時アップ！



検索は、「**岸和田 井上ひろし**」で。

岸和田 井上ひろし



井上ひろし後援会事務局

〒596-0076 岸和田市野田町2丁目8-16
メール：h.inoue-2014@asahinet.jp
HP：https://www.inoue-kishiwada.com/